

令和5年度一般会計当初予算編成における財源不足の解消について

1 財源不足の状況

中期財政見通し（令和3年8月策定）では、約73.4億円の財源不足と見込んでおりましたが、予算編成方針を示達した9月時点では、財政調整基金15億円を活用してもなお約101.6億円の財源不足が生じました。

予算編成方針示達後、各部局の要求内容の精査により、予算要求の11月時点では、72.9億円の財源不足が生じました。

（令和4年11月11日時点） （億円）

| 歳入(※) | 歳出 | 財源不足 |
|---------|---------|------|
| 1,584.3 | 1,657.2 | 72.9 |

※財政調整基金15億円含む

2 財源不足解消への対応策

(1) 歳出縮減策（主な事業は次ページに掲載）

要求事業費の見直し及び精査等のほか、国の補正予算による国庫支出金の活用による令和4年度2月補正予算への前倒しなどにより、52.2億円（一般財源38.7億円）の縮減を図りました。

（億円）

| | 歳出縮減額 | うち一般財源 |
|----------------------|-------|----------|
| ① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減 | 13.3 | 7.5 |
| ② 2月補正への前倒し実施 | 22.2 | 6.0 |
| ③ 要求の精査による縮減 | 16.7 | 25.2 |
| 合計 | 52.2 | (A) 38.7 |

(2) 歳入確保（財源対策）

歳出事業に合わせて市債等の特定財源の活用を図るとともに、市税収入見込の時点修正及び国の地方財政計画の見込等により、34.2億円の財源対策を図りました。

なお、財政調整基金については、34億円を取り崩すこととし、令和5年度末残高は、約94.4億円を確保できる見込みです。

（億円）

| | 予算要求 時点 | 予算案 | 差額 | 要因 |
|------------|------------|---------|----------|------------|
| 市税 | 834.1 | 839.0 | 4.9 | 見込の時点修正による |
| 市町村振興資金貸付金 | 0.0 | 1.1 | 1.1 | 地方債充当残額に充当 |
| 地方消費税交付金等 | 132.4 | 141.6 | 9.2 | 地方財政計画等による |
| 財政調整基金 | 15.0 | 34.0 | 19.0 | |
| 合計 | 981.5 | 1,015.7 | (B) 34.2 | |

財源不足額72.9億円は、歳出縮減（A）及び歳入確保（B）により解消し、収支均衡した予算を編成することができました。

以上

（事務担当 財務部財政課）

① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減

市民生活への影響に配慮し、特定財源の確保等に合わせるなど事業の縮減を図りました。

- ・ (学校施設環境整備事業費 (小)) $\Delta 4.1$ 億円
一部の小学校における空調整備
- ・ (藤沢駅周辺地区再整備事業費) $\Delta 1.6$ 億円
藤沢駅北口南北線道路整備事業
- ・ (諸整備費事業費 (小・中)) $\Delta 1.3$ 億円
一部の小・中学校における各改修工事
- ・ (石名坂環境事業所整備費) $\Delta 1.1$ 億円
焼却施設の更新工事の一部
- ・ (スポーツ施設整備費) $\Delta 1.1$ 億円
一部のスポーツ施設の劣化度調査委託

② 2月補正への前倒し実施

- ・ (学校施設環境整備事業費 (小・中)) $\Delta 13.5$ 億円
国の補正予算に伴う小・中学校における各改修工事等
- ・ (遠藤葛原線新設事業費) $\Delta 1.8$ 億円
国の補正予算に伴う葛原第一工区道路築造工事
- ・ (道路施設改修事業費) $\Delta 1.1$ 億円
湘南台駅、辻堂駅エスカレーター改修工事等
- ・ (公園改修費) $\Delta 0.8$ 億円
国の補正予算に伴う引地川親水公園他3公園遊具改修工事等
- ・ (市道新設改良費) $\Delta 0.7$ 億円
国の補正予算に伴う鶴沼29・31号線道路改良工事

③ 要求の精査による縮減

- ・ (介護給付費等事業費) $\Delta 1.9$ 億円
直近の実績等に基づく見込みの精査
- ・ (橋りょう改修費) $\Delta 1.0$ 億円
工事内容の精査
- ・ (障がい児通所給付費等事業費) $\Delta 0.9$ 億円
直近の実績等に基づく見込みの精査